

## 平成28年度 第1回苫小牧市民文化芸術審議会 会議概要

日 時：平成28年8月29日（月）14：00～14：45  
会 場：苫小牧市役所9階 第1委員会室

出席委員：千葉会長、松原副会長、安藤委員、伊藤委員、椎原委員、中川委員、  
則定委員、宮脇委員 計8名  
欠席委員：内村委員、坂井委員 計2名  
事務局：瀬能教育部次長  
生涯学習課 鍛冶課長、木戸主査、斉藤主査

---

- 1 開会 （進行）鍛冶課長
- 2 委嘱状交付
- 3 佐々木副市長挨拶
- 4 委員・事務局員自己紹介
- 5 会長・副会長選出 （会長：千葉委員、副会長：松原委員）
- 6 会長・副会長挨拶
- 7 議事 （進行）千葉会長

### (1)審議会の活動内容について

苫小牧市民文化芸術審議会のこれまでの活動状況、条例に基づく審議会委員の権限に属する事項について事務局より説明。

※委員からの質問等なし。

### (2)平成28年度苫小牧市民文化芸術振興助成事業追加申請について

市民文化芸術振興助成事業の概要と平成28年度助成事業の追加分として申請のあった5件について、事務局より説明。

#### <主な質疑>

会 長：2番目の「苫小牧陶芸協会作品展」について、助成希望額が1万円と  
いうことであるが、事務局で計画書を受取ったときに、予算の残額に  
応じて、もっと希望額を上げて良いというようなアドバイスをした  
方がよいと思うんですが。

事務局：事業内容にもよると思いますが、予算の残額によって、今後そのよう  
なアドバイスをしていければと思います。

委員：3番目の「第6回元気な高齢者の作品展」について、助成金額が1万円増えていますが、体験コーナーの材料費が増えているということですよいいですか。

事務局：そうです。

委員：日本ユーラシア協会苫小牧支部について、毎年演奏会をしているようですか。

事務局：そうです。ちなみに昨年は、ヴェルトグラードトリオ公演で、ギターとバラライカ、バトリン歌手の3名による公演を行っております。

会長：ちなみに観客数はわかりますか。

事務局：わかりません。

委員：入場者数は、280名を見込んでいるとのことですが入りますか。

事務局：文化会館の定員は480名ですので入ります。

委員：この著作権料というのはなんですか。

委員：音楽は過去50年以上経過すると掛からないですが、最近のミュージシャンの音楽を使用したい、演奏したいという場合は、著作権料を支払わなければなりません。ただ、この予算書を見ると、480人となっていて、入場者数の見込みは280名となっています。これはどういうことですか。

事務局：本公演は文化会館で行いますが、定員が480名ということで、最大の480名を使っていると伺っています。

委員：480名入らなくても、予算に入れるということは、助成金を受ける側は沢山ほしいので、多めに書くんですよ。それと、ちょっと気になったんですが、例えば、自分の家のプリンターを使って、インクを買って、コピーして案内状を作っても、1万5千円も掛からないですよ。これはちょっと掛かり過ぎじゃないかと思うんですよ。

事務局：実際には、事業の実施後に実績報告書という形で、実際に購入した領収書を添付して、決算書という形で提出してもらいます。ですので、これは、あくまで最大の数字と考えていただいてよいと思います。

委員：対象経費の50%をいただけるとなると、ありとあらゆる方法で金額を出して、その中から半分という考えになると思うので、慎重に審査を行っていただきたいです。

事務局：助成金の経費につきましては、申請を受け付けるときに審査をし、内容を見ています。それで、実際に支出するに当たっては、先ほど担当からも説明しましたが、最後に収支報告書、きちんと領収書等を付け合わせた形で、その事業に関して、こういう風に使ってますという証明に基づいて助成金を交付するので、多く見積もっているところで、

助成金が多く出るということは制度上ありません。

会 長：他に、この案件についてのご質問がなければ、（２）の平成２８年度  
苫小牧市民文化芸術振興助成事業追加申請については、原案通りとい  
うことでよろしいでしょうか。

各 委 員：意義なし。

※原案とおり、助成事業追加申請５件の承認を得る。

### （３）その他について

会 長：議事には関係ありませんが、新聞報道等で市民会館の建て替えの話が  
ありますが、駅前がよいのではとか色々ありますが、計画が進められ  
ている範囲で、特に差し支えのない範囲で、担当部局が違うというこ  
ともあるかもしれませんが、今こんな状況にありますという話をお聞  
かせいただければと思います。

事務局：市民ホールに関しましては、市民生活部の市民ホール準備室で検討し  
ているところがございます。建設場所につきましては、いくつかの候  
補地があるという段階で、ここに建てるという方向性が決まっていな  
いということがございます。ただ、この前、市長の発言がございましたが、  
駅前の活用に関しましては、駐車場が少ないというのがあって、  
現実的にはどうなのかなというのが、市長の発言にありましたけども、  
ただそこも１つの候補地になっているというのには変わりがないとい  
うことです。あと、他の候補地としては、東小の跡地ですとか、そう  
いった所が候補地として上がっているようですが、今の所、こことい  
うのは決まっていないと聞いています。

委 員：市民会館は老朽化で閉鎖するという方向で進んでいるということであ  
いいますか。

事務局：そうですね、市民会館は、昭和４０年の前半に建てられたもので、非  
常に老朽化しているということもありますが、ただ、大ホールは１、６  
００人位入るホールで、文化会館は５００人位入りますが、市民の中  
からは、その中間規模のホールが欲しいというのもありまして、市民  
会館の老朽化も含め複合施設として、新たな物を作るという方向で、  
市民会館は新しい施設ができたなら取り壊すことになっています。

委 員：いつ頃ですか、新しい施設ができるのは。

事務局：予定では、平成３５年頃になっておりまして、これからの基本設計や  
実施設計をしていく段階で、想定している期間も若干前後するかもし  
れませんが、３５年頃を目処にということになっております。

8 閉会 14時45分